

NAJU
*Web
Contents*

2022년 10월 04일 13시 51분

목차

목차	2
古墳との出い	3
疏開	3
立羅州博物館	4

山江・自 車通り	食客探訪・グルメ通り	古墳との出 っ	小さい漢陽・羅州邑城
元 回復に最高、ウナギ通り	天然染色		



羅州の古墳

三 時代以前の馬韓時代に築造され、2,000年という 史を持つ 山江流域特有の文化遺産で、慈美山城を中心に 山里、新村里、大安里に分布する古墳は、ピラミッド形、円柱形、四角形など、大きさ、形ともに であるために、神秘的な王 に迷い んだかのような錯 を え

🌐 疏開

潘南古墳群には、羅州市潘南面の紫微山(98m)を中心に、新村里8基、 山里14基、大安里12基の計34基がある。大型甕棺古墳から出土した遺物は、 山江流域系統の遺物が主であるが、後期には百 系、日本系の遺物が混入し、伽倻系の特 も一部で見られている。 って、 時の社 が百 、伽倻、倭などと活 に交流を行っていたことが分かる。また、古代 山江の水路 件を利用した海上活動が非常に盛んであったことを物語っている。 山江流域の甕棺古墳社 は、6世紀半ばから百 の地方管制に本格的に編入される。



伏岩里古墳群は、多待面伏岩里にあるチャメ山の麓にある4基の古墳で、1996年に 掘された。伏岩里古墳群で規模が最も大きい3 墳は 掘被害が全くなかったため、金銅製履(靴)、銀製冠飾、 飾太刀などの遺物が出土し、40余基の多 な埋葬遺構が一つの古墳 にあったことから、“アパート型古墳”とも呼ばれている。近隣のランドン村には、伏岩里古墳展示館が建設される予定である。また、伏岩里の向かいにある永洞里でも多くの古墳が 見されており、永洞里古墳群と して活 な 究が行われている。





立羅州博物館

潘南面古墳路747番地所在の 立羅州博物館には、羅州新村里9 墳から出土した金銅冠をはじめとする1,500余点もの遺物が展示されている。



COPYRIGHT © NAJU-SI. ALL RIGHTS RESERVED.

NAJU

Web Contents

